

一般公表用

# 福祉サービス第三者評価 評価結果 そくてつ保育園GENKIDS瀬谷

横浜市瀬谷区瀬谷四丁目1番1 エスボックス2階

運営主体:相鉄アメニティライフ株式会社

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 実施概要               | 1 ページ     |
| 総合評価 (評価結果についての講評) | 2~4 ページ   |
| 評価領域ごとの特記事項        | 5~6 ページ   |
| 分類別評価結果            | 7~15 ページ  |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果  | 16~23 ページ |
| 利用者本人調査分析          | 24~25 ページ |
| 事業者コメント            | 26 ページ    |

2008年 3月31日 公表

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

|        |                      |          |       |
|--------|----------------------|----------|-------|
| 事業所名   | そうてつ保育園 GENKIDS 瀬谷   |          |       |
| 報告書作成日 | 2008年3月18日           | 評価に要した期間 | 約6ヶ月間 |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま |          |       |

### 評価方法

|  |   |
|--|---|
| 1、自己評価<br>実施期間：<br>07年9月上旬～12月10日              | <p>ミーティングにて全職員に趣旨等を説明した。<br/>自己評価票を全職員に配布し、各自記入した。<br/>各担当毎（クラス・パート・フリー・調理・事務所）に話し合いを行い記入内容について確認・合意を図った。<br/>その結果を持ち寄り、リーダー・フリー・調理・施設長・主任で協議し合意を図った。</p>   |
| 2、利用者家族アンケート調査<br>実施期間：<br>07年11月1日～11月20日     | <p>全園児の保護者（68家族）に対して保育園から手渡し。<br/>同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>  |
| 3、訪問実地調査<br>実施日： 第1日：08年1月18日<br>第2日：08年1月21日  | <p>[第1日]<br/>午前：各クラスにて保育観察、その後、3～5歳児クラスの公園散歩に同行。<br/>昼食：3～5歳児クラスで園児と一緒に頂く。<br/>午後：書類調査及び0歳児クラス担任、早番保育士に個別に面接調査。その後、施設長・主任に面接調査。<br/>夕方は降園の様子を観察。</p> <p>[第2日]<br/>午前：朝は、登園の様子を観察。<br/>各クラスにて保育観察、その後、3～5歳児クラスの公園への散歩に同行。<br/>昼食：3～5歳児クラスで園児と一緒に頂く。<br/>午後：各クラス担任、調理員、遅番保育士に個別に面接調査。<br/>その後、施設長・主任に面接調査。<br/>最後に意見交換を行い、終了。</p> |
| 4、利用者本人調査<br>実施日： 第1日：08年1月18日<br>第2日：08年1月21日 | <p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、公園への散歩にも同行した。4、5歳児の子どもを中心に、観察調査や昼食で同席し会話した中で、聞き取りも適宜実施した。</p>   |

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

「そうてつ保育園 GENKIDS 瀬谷」は、相鉄線「瀬谷」駅より徒歩1分、駅に隣接したビルの2階に2005年（平成17年）4月に開園しました。運営法人は相鉄アメニティライフ株式会社で、他にも「緑園都市」「二俣川」「いずみ中央」の駅近くに系列園があります。

定員は0歳児～5歳児で60名、平日は午前7時～午後9時、土曜日は午前7時～午後6時です。ペランダにある園庭は南に面し十分な採光が確保されており、保育室も明るく清潔感に溢れています。周辺は落ち着いた駅前商店街で、住宅街と続いています。駅に隣接していますが、電車の音は気になりません。

基本理念は、「0～5歳の乳幼児は生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であることを認識したうえで、お子様が安全に・快適に・そして元気に過ごせる環境を提供できるよう責任を持って努めるとともに、お母様、お父様が安心して働ける環境づくりをサポートします。家庭内保育など多様な保育ニーズにきめ細かに対応するサービスを提供し、また園外保育の実施などにより、地域の暮らしの支援・保育ネットワークの形成に努めます。」となっています。基本方針としては、「あたたかい保育園を目指します」「保護者とのコミュニケーションを大切にします」を掲げています。

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは、よく遊び・よく食べ・よく寝て、生き生きと園生活を楽しんでいます

園目標は「よく遊び、よく食べ、よく寝る」です。園では子どもたちが園の生活を楽しめるよう家庭的な環境づくりに力を入れています。その中で、子どもたちはのびのびと元気に園での生活を楽しんでいます。

雨が降らない限り、毎日、園庭で遊ぶか、公園に散歩に出かけ、戸外で思いきり体を動かしています。滑り台、ブランコ、砂遊び、かけっこ、鬼ごっこ、ボール遊び、木登りとそれぞれが好きなことをして、とても活発に動いています。友達との会話も多く、自分がやりたいことをはっきり言葉で表現することが出来ます。けんかなどの場面では、乳児は保育士の仲立ちで自分の気持ちを言葉で伝え、幼児は、保育士の働きかけで、自分たちで考え話し合っ解決しています。

子どもたちは給食を「とてもおいしい」「嫌いなメニューはないよ」と良く食べ、楽しんでいます。手作りの給食は有機栽培のこしひかりを用いる、最低でも5品目以上の野菜を取り入れる、家庭で食べる機会が少ない食材も使う、など工夫され、量も十分です。こだわりのお米は子どもたちにも好評で、副食なしでご飯だけで食べる子もいます。おかわりする子も多く、残す子はほとんどいません。

午睡も、途中で起きてくる子はほとんどなく、皆ぐっすり寝ていました。（5歳児は1月から就学準備のため午睡をしていません）着替えや片付けなども、保育士の働きかけのもと、乳児でもできるだけ自分で行っています。

#### 2、保育士は子どもたち一人ひとりに寄り添い、見守っています

保育士は子どもたちが自分で考えること、自主性を大切に、子どもたちが自己を十分に発揮できるよう、見守り、必要な時は支援しています。遊びや生活の全ての場面において、できるだけ自分でできるよう、ぎりぎりまで見守り、励ましています。しかし、危険がある時などははっきりと分かるよう注意しています。けんかなどの場面においても「子ども自身に考えさせる・理解できる・納得で

きる」ような言い方をしています。特に、4、5歳児には「どうするのが良いかみんな考えてみよう。」と自分達で話し合っ解決するよう働きかけています。

個々の子どもに関する情報は、朝の申し送りやクラス会議、スタッフミーティング（職員会議）で話し合い、共有しています。保育中も職員同士声を掛け合い、連絡しあい、一人ひとりの子どもを皆で見守るようにしています。

保育士は常勤職員が比較的多く、全員が有資格者です。新しい園なので自分の意見を保育に反映することができる、何でも相談することができる風通しのよい雰囲気、充実した福利厚生など、職場環境が整っています。また、若い保育士も比較的多く、保育士も子どもたちに負けないくらい元気です。

## 独自に取り組んでいる点

### 保護者の就労支援に力を入れています

平日の開園時間は朝7時～夜9時までと長く、希望があれば軽食や夕食を提供し、保育中の子どもの様子を1日3回保護者向けにインターネット配信するなど保護者が安心して、働きやすい環境を整えることに力を入れています。

また、保護者とのコミュニケーションにも力を入れており、0歳児～3歳児は個人連絡帳で、4、5歳児はホワイトボードでその日の様子を知らせるほか、朝夕の送り迎え時には保護者に口頭で直接子どもの園生活や成長の様子を伝えるよう努めています。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、地域との連携が望まれます

開園3年目を迎え、今後は園内だけではなく地域にも目を向けていくことが望まれます。保育士や子どもたちは散歩の時、公園などで地域の人たちと自然にあいさつを交わし会話していますが、園としての地域との交流はまだほとんど行われていません。子どもは家庭や保育所だけでなく地域の中でも生活しています。民生委員や自治会、ボランティアなど地域の関係組織に積極的に働きかけ、地域の行事に参加し、地域の施設、団体、他の園や学校等と交流をはかっていくことが望まれます。地域の色々な人々や文化に触れ、社会について学ぶ機会が広がることにより、保育士も子どもたちも成長すると思われまます。

また、保育園には地域の子育て支援の役割が求められています。基本理念にある「地域の暮らしの支援、保育ネットワークの形成」のためにも、地域との交流の中で保育ニーズを把握し、地域の育児支援を行うことが望まれます。

駅に近いという地の利や、鉄道会社が母体であり沿線に系列園があるというネットワークを生かし、たとえば沿線の子育て家庭向けの育児講座を開催するなどの、特色のある育児支援を工夫することを期待します。

### 2、業務マニュアルなどを見直し、整備することが望まれます

設立後3年で、保育の理念や保育方針に沿ってマニュアルや手順書などを、順次作成してきました。それらは実践的で、実際の業務の流れに沿ってまとめられ使いやすい内容となっています。ただし、非常時にも適切に対応することができるよう、マニュアルは職員誰にでもすぐに分かるものにする必要があります。健康管理・安全管理・衛生管理・業務・調理などの点から系統立てたものに整備していくことが望まれます。さらに今後は、日課となっている散歩など日々の保育についても、散歩道や

公園の安全確認のチェック項目などを決め、マニュアル化することも必要と思われます。また、感染症予防については年々変化しているので、マニュアルは定期的（年1回程度）に見直し、常に現状にあったものにすることが必要です。

保育園として保育の質を標準化し維持向上していくために、業務マニュアルなどを職員全員で見直し、整備することが望まれます。

### 3、内部研修をさらに充実させることが望まれます

保育士は年間の研修計画に沿って、園外の研修会・研究大会等へ積極的に参加し、研修の成果はレポートにまとめ、ミーティングや会議などを通して皆に紹介しています。さらに、感染症やヒヤリハット事例などが発生したときは、ミーティングなどで研修し情報を共有しています。しかし、計画的な内部研修の実施はこれからという段階です。今後は保育の理念や基本方針の実践へ向けての取り組みや、日々の保育の課題を研究するなどの、内部研修の実施について検討が望まれます。

今年度より、保育技術の工夫・向上についての会議での話し合いや、系列4園による交換実地研修などが行われています。このような経験は、保育士が自分自身の保育を振り返り見直して、自己研鑽し向上するための良い機会になると思われます。これらの試みをさらに充実させることにより、子ども主体の保育がより実践されることを期待します。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育の理念「0～5歳の乳幼児は生涯にわたる人間形成の基礎を培う有用な時期であることを認識したうえで、お子様が安全に・快適に・そして元気に過ごせる環境を提供できるよう責任を持って努める」、基本方針「あたたかい保育園を目指します」などは、子ども本人を尊重したものになっています。
- ◇ 守秘義務の遵守、個人情報の取り扱いについては、ガイドラインを作り、年度の初めに全職員に周知を図っています。また、実習生にも、オリエンテーション時に文書を渡し説明しています。
- ◇ 児童虐待については、施設長が、見分け方・チェック事項を口頭で全職員に説明し、周知しています。また、常に子どもを観察し、虐待の予防と早期発見に配慮しています。なお、虐待が疑われるような場合には、関係機関と連携が取れる体制となっています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育方針や保育目標は、子どもの自主性・主体性を育むものとなっています。園は子どもたちが主体的に活動できるように環境を整えています。保育の目標「よく遊び、よく食べ、よく寝る」のもと、子どもたちは生き生きと園生活を楽しんでいます。
- ◇ 保育士は子どもたちの自主性、自分で考えることを大切にし、子どもたちを見守り、必要なときは支援しています。
- ◇ 子どもたちは、散歩の際に地域の人々とあいさつを交わしたり、スーパーでの買い物、勤労感謝の日には交番のお巡りさんや瀬谷駅職員へ絵をプレゼントしたりして、地域の人々と交流しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、保育方針や保育目標に基づき、保護者の事情にも配慮して作成しています。さらに地域の状況も考慮して作成しています。
- ◇ 指導計画の作成・評価・見直しにあたっては、スタッフミーティング（職員会議）・クラス会議等を通して全職員が関わり、子どもの発達や状況を考慮して対応しています。
- ◇ 第三者委員に保護者が直接苦情を申し立てることができるよう、年度初めのお知らせを通して伝えています。また、事務室前に意見箱を設置して書面での要望・苦情の申し入れに備えています。
- ◇ 健康管理、衛生管理、安全管理等に関する各種マニュアルを作成し、全職員に周知しています。避難訓練も定期的に行い、事故や災害に対する緊急連絡体制も確立しています。なお、マニュアル類の記載内容については、より統一性を持たせる工夫が望まれます。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 散歩先の公園で、園児たちと地域の親子連れとの交流をする中で、子育ての相談を受ける場合もあります。ただし、地域における子育て支援については、今後の課題として種々検討している段階です。
- ◇ 毎年、瀬谷区内の公立・私立保育園が協力して開催している未就学児対象のイベント「わいわい瀬谷っこまつり」に企画段階から参画しています。
- ◇ 今後、自治会など地域の関係組織との交流・連携に努めることが望まれます。
- ◇ 瀬谷区幼保小教育支援事業を通して、近隣の保育園・幼稚園・小学校などとの交流・連携を行っています。

## 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 事業者として守るべき法・規範・倫理等については、会社として作成している規程の中に明記し、職員に周知徹底を図っています。
- ◇ 施設長は重要な意思決定に際しては、関係職員・保護者等から情報・意見を集め、説明するしくみを取り入れています。
- ◇ 園の保育目標・保育方針は文書により職員への周知を図っています。なお、日々の振り返りのためにも園内に掲示することが望まれます。
- ◇ 施設長は、園の運営に影響のある情報を収集・分析し、外部環境の変化に対応して、保育目標や保育方針を実現するための取り組みを行っています。

## 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 各職員の要望も考慮した研修計画に基づき、人材育成を実施し、外部研修に積極的に参加しています。また、系列園における交換実地研修により、お互いの保育を見直す機会を設けています。研修の成果はレポートにまとめ、会議などを通して情報の共有化を図っています。
- ◇ 職員は、個々に資質向上に向けた目標を毎年定め、年3回の施設長および事業部幹部との面接を通して達成度の確認・評価を受けています。
- ◇ 実習生の受け入れに際しては、依頼校との協議に基づいて行っています。実習生には、主任が担当として指導を行い、意見交換の機会を設けて、実習の成果を確かなものにしていきます。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



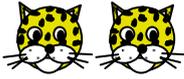
「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由(コメント)  |
|--|--|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の理念や基本方針は、子どもを尊重したものになっています。</li> <li>・ 保育の理念や基本方針は明文化され、全職員に配布し周知され、日々の保育で実践されています。</li> <li>・ 保育計画は、保育の理念や基本方針に基づき、また、地域の実態や周囲の環境、保護者の就労状況や実状なども考慮して作成しています。</li> <li>・ 保育計画に基づく月間指導計画の作成にあたっては、日常の保育の中で子どもの意思や意見を汲み取り、子どもの自主性や主体性を育て発揮できるようにしています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園前には、保護者と子どもとの面談を行っています。また、入園までの生育暦や家庭での状況については、保護者から提出された児童票により把握しています。</li> <li>・ 入園時の短縮保育については、保護者へ説明し、子どもに無理のない範囲で対応しています。また、子どもが心理的拠り所とするタオル、ぬいぐるみ等の持ち込みに応じています。</li> <li>・ 保護者との情報連絡手段として、0、1、2、3歳児に対しては毎日、個人別連絡帳を使用しています。</li> <li>・ 4、5歳児については、ホワイトボードを使用してその日の保育の様子を伝えています。</li> <li>・ 指導計画については、毎月開催のクラス会議において、子どもの発達や状況に応じて、評価・見直しを行っています。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
| <p>- 3 快適な施設環境の確保</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが快適に過ごせるように環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされています。各クラスには、エアコンを設置して快適な室温を維持しています。また、冬季には加湿器を設置して、適正な湿度の確保に努めています。</li> <li>・0歳児クラスには、沐浴設備を備えています。また、シャワー設備があり、夏季における散歩やプール遊びに使用します。沐浴設備、シャワー設備は手順書に基づき、常に清掃し清潔にしています。</li> <li>・各クラスには、コーナー遊びの備えもありますが、低年齢児には小集団保育が行えるように、更に保育室の使い方に工夫が望まれます。</li> <li>・朝の登園時間帯は、最初、0歳児クラスに全員が集まり、次いで幼児は4、5歳児クラスに移動し、その後、それぞれの各クラスに分かれます。この過程が異年齢児間の交流の場となっています。また、夕方の園庭での遊びも異年齢児間の交流の場となっています。</li> </ul> |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・0～1歳児については、子ども一人ひとりの状況に応じて個別の指導計画書を作成しています。重要な部分については、保護者面談や連絡帳などを通して保護者へ伝えていきます。</li> <li>・子ども一人ひとりの発達の段階に応じてその状況を記録し、日々の保育に活かしています。子どもについての記録は、全職員が共有できる仕組みになっています。但し、個人情報保護を考慮して、事務室の鍵のかかる書架に保管しています。</li> <li>・なお、特別な課題がある幼児に対しては、個別の指導計画の作成が望まれます。</li> </ul>  |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮を要する子どもについては、毎月のリーダー会議やクラス会議で話し合って対応しています。なお、特に配慮を要する子どもについてのより良い対応方法など、最新の情報を職員間で学習することに関しては、更なる取り組みが望まれます。</li> <li>・食物アレルギーについては医師の診断書を基に、家庭と密接な連絡をとり適切に対応しています。</li> <li>・アレルギー疾患については、全職員出席のスタッフミーティングにおいて必要な知識・情報を理解・周知させています。</li> <li>・なお、過去3年間に、障がいのある児童や、文化の異なる児童を受け入れた実績はありません。</li> </ul>   |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱を玄関に設置するとともに、懇談会・個人面談を通して保護者の要望・意見を受けています。運動会やクリスマス会などの行事の後にはアンケートを行って、保護者からの要望や苦情を受ける仕組みとしています。</li> <li>・要望・苦情は、施設長が受け付けることになっています。第三者委員2名の氏名・連絡先は、保護者に紹介しており、直接苦情を申し立てられるようにしています。</li> <li>・要望や苦情を受付けて対応するためのマニュアルを備えています。ま</li> </ul>   |

た、系列園の施設長会議において紹介される要望や苦情の事例も、種々の課題解決に活かしています。

- ・なお、権利擁護機関など他の機関の苦情解決窓口の紹介は、まだ行っていません。

## 評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びについて、子どもからもう少し遊びたいという声があがれば時間が許す限り延長するなど、柔軟に対応し、子どもが好きなことをして遊び込める時間を確保しています。</li> <li>・子どもの好きな絵本から発展した劇遊びをクリスマス会で発表するなど、子どもの思いを大切に、それを集団活動に取り入れています。</li> <li>・保育士は子どもたちの自主性を大切に遊びを見守っていて、声かけしたり、おもちゃを足したりして、遊びを広げています。</li> <li>・園庭のプランターで二十日大根、小松菜などの野菜を栽培し、幼児が収穫し、調理してもらって食べたり、芋ほりのさつま芋でおやつ作りをしたり、残りのへたの部分でスタンプ作りをしたりしています。また、ザリガニ、カブトムシ、スズムシを保育室で飼育しています。</li> <li>・子どもたちは大きな声で元気よく体を動かしながら、歌を歌っています。</li> <li>・子ども同士のけんかにおいては、なるべく自分たちで解決するように、保育士は危険がない限り、ぎりぎりまで見守っています。必要な時は、乳児には言葉で自分の気持ちを伝えるよう仲立ちをし、幼児には、自分たちで考え話し合っ解決するよう働きかけています。</li> <li>・異年齢の子ども同士の関わりについては、朝夕の自由遊びのほか、散歩で公園に一緒に行くなどしています。公園に行く時は手をつなぎ、年齢の上の子どもが車の通る側を歩くなど、日常の中で小さい子どもへの気遣いを学んでいます。また、クリスマス、節分などの行事の後、園児全員で会食する機会を設けています。</li> <li>・雨が降らない限り毎日、園庭で遊ぶか、公園へ散歩に出かけ、元気いっぱい屋外で体を動かしています。</li> <li>・紫外線対策として、子どもたちは屋外で活動する時は帽子をかぶっています。また、夏場は、園庭に小型テントをはっています。</li> <li>・幼児は自分の道具箱から自由に自由帳、クレヨン、はさみなどを取り出すことができます。今後は、子どもが年齢に応じて好きなときに自発的に表現できるような様々な素材を保育室に置くなど、さらなる工夫が望まれます。</li> </ul> |

- 1 保育内容[生活]



- ・子どもが給食を全部食べることができた時や、苦手なものが食べられた時、保育士がほめて次への意欲につなげています。
- ・幼児に対しては「3群（赤、緑、黄色の食品群）の元気が出る歌」を給食の前や遊びの時に歌うなどの食育を通して、食への興味・関心を育てています。
- ・献立には、毎食、野菜を5品取り入れるとともに、旬の食材を使用するようにしています。また、5月はこどもの日、7月は七夕、8月は夏祭りなど、行事食を多く取り入れています。行事の時は屋台風にしたたり、園児全員で会食したり、雰囲気作りをしています。
- ・お米は有機栽培のコシヒカリを用い、食材の安全に配慮しています。また、食器は破損しても飛散しない磁器とし、子どもの成長・発達や用途に合わせたものを使用しています。
- ・毎月、給食ミーティングを開き、喫食状況等についての情報を交換しています。ミーティングで話し合った結果は系列4園による給食会議で報告、検討し、次の献立・調理に反映しています。
- ・献立表を作成し毎月配布しています。また、サンプル棚に乳児・幼児の給食を置き、内容だけでなく食べる量も保護者に伝えていきます。
- ・午睡中は部屋を暗くし、落ち着く音楽を流すなど工夫しています。午睡中は床暖房を消すなど、温度調節にも配慮しています。
- ・トイレトレーニングは、一人ひとりの発達状況に応じて個別に保護者と相談しながら行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・毎朝の出席表に一人ひとりの毎朝の視診、保護者から聞いた情報を記録し、外遊びや食事などで配慮を要する場合は朝の申し送りで職員に詳しく情報を共有しています。
- ・園の嘱託医に健康診断を受けてもらい、診断書を保管・管理しています。そのため、子どもに健康上の留意点があったときは一人ひとりについて嘱託医と相談できる体制が出来ています。
- ・感染症が発生した時は速やかに玄関に掲示するとともに、各クラス担任からも送り迎え時に保護者へ口頭で伝達しています。また、子どもに感染症の疑いがある場合は、丁寧に口頭で受診をすすめています。
- ・ケガ、病気についての対応マニュアルはできていますが、日々の子どもの健康状態をチェックする手順などのマニュアルはありません。現在は、子ども一人ひとりの健康台帳により、健康状態を把握していますが、今後は日々の健康チェックや注意事項なども含めた、体系的な健康管理マニュアルを整備することが望まれます。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・施設・設備の清潔保持や感染症などのマニュアルを作成し、年度初めに全員に周知しています。
- ・マニュアルに基づき清掃が行われ、清潔・適切な状態が保たれています。
- ・今後は、衛生管理に関わるマニュアルを定期的に見直し、常に実情にあったものにしていくとともに、衛生管理マニュアルとして統一・整備することが望まれます。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [安全管理]



- ・子どものケガは、軽傷であっても、保護者に連絡帳で伝えるとともに、必ず口頭で報告しています。
- ・事故やケガは、小さなものであっても、原因・状況・反省点・再発防止策の詳細を報告書に記述し、施設長や担当職員、本部が把握できるようになっています。また、クラスノート、早番・遅番の引き継ぎノートに記入し、職員間で情報を共有しています。朝の申し送りやスタッフミーティングでも報告、検討され、改善策が実行されています。
- ・消防署等との緊急連絡体制ができています。
- ・地震等を想定し、備品等の転倒防止対策を行っています。
- ・入口は不審者侵入対策として、完全施錠でカードキーによるセキュリティを導入しています。また、送り迎え等で園内に入る可能性がある人は、保護者カードに登録して、顔写真で確認できるようになっています。
- ・スクールポリスネットに登録しており、地域で事件が発生した場合はファックスが届くほか、本社や区役所からもファックスで情報が届く体制になっています。
- ・非常災害時について、事故や安全点検など、それぞれについてのマニュアルはありますが、内容が重複している部分も見られます。非常時に備え、安全管理マニュアルとして整理し、統一すると、さらに使いやすいものになると考えられます。

- 3 人権の尊重



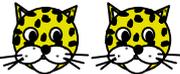
- ・全スタッフが一人ひとりの子どものことを知っていて、丁寧な関わり方をしています。
- ・施設長は、子どもたちに接する際の態度や言葉遣いに関して、職員に対しては年度初め、新任職員に対しては入社の際に「一呼吸おいてから、やわらかく話すよう」「子どもの名前を呼び捨てにすることのないよう」周知しています。
- ・パーティションの陰などのスペースはありますが、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所を確保できるよう、コーナーや仕切りなどで工夫することが望まれます。
- ・子どもと一対一で話し合う必要がある時は、廊下や事務所、更衣室を利用しています。
- ・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしません。また、名簿や順番、グループ分け、整列などで、男女別に分けていません。
- ・虐待が疑われるような場合には、必ず施設長に報告し、必要な場合には区の保健師や関係機関に連絡、相談する体制ができています。
- ・会社として「個人情報保護に関する基本方針」「個人情報保護方針」「個人情報保護規則」を策定し、全職員に周知しています。
- ・個人情報に関する記録は、事務室の施錠できる棚に保管、管理しています。
- ・個人情報の取り扱いについては、保護者から問合せがあった場合、説明していますが、今後は入園のしおりに個人情報保護についての園のポリシー等を明示し、園内に掲示したりするなど、保護者に周知する

|   |  |
|---|--|
|   | ことが望めます。   |
| <p>- 4 保護者との交流・連携</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して、懇談会で園の方針を説明しています。また、行事の後にアンケートをとって、保護者から意見や要望を把握し、その中で保育方針が理解されているかどうかなども、把握するようにしています。</li> <li>・0、1、2、3歳児は個人別連絡帳で、4、5歳児はホワイトボードで、その日の保育の様子を伝えています。朝夕の送迎時には、その日の子どもの様子を口頭で保護者に伝えています。</li> <li>・1日に3回（朝、昼、午後のおやつ時）、保護者向けのインターネット配信で保育の様子を伝えています。</li> <li>・保護者からの相談について、通常は担任の保育士が対応しますが、内容により園長、主任が対応したり、保護者との個別面談を設定したりする場合があります。複数担任であるので、保育士同士が相談し回答することができます。</li> <li>・毎月、「えんだより」、「クラスだより」を発行しています。また、年2回の懇談会で子どもの様子を伝えています。</li> <li>・年度末の懇談会の前、保育を参観できるようにしています。（来年度より、保育参加を年間行事に取り入れていく予定です。）</li> <li>・保護者組織は現在ありませんが、運営委員会には各クラスの保護者代表が出席しています。運営委員会では園から運営に関する事項について説明・質疑応答し、保護者からは要望や意見を聞いています。</li> </ul> |

## 評価領域 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷区保育施設長連絡会に参加するなどして、地域の子育て支援ニーズの把握に取り組んでいます。</li> <li>・地域での子育てを支援するためのサービスとして、定員に空きが出た9月に1名の一時保育を行いました。（なお、来年からは3名の枠を設ける予定です。）</li> <li>・今後は自治会や民生・児童委員などに積極的に働きかけることによって、地域の保育ニーズを把握し、それに基づき、子育て支援を行っていくことが望めます。</li> </ul>                               |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷区内の公立・私立保育園が協力して毎年開催している未就学児対象のイベント「わいわい瀬谷っこまつり」では、育児相談を行いました。</li> <li>・園の見学に来たときに、育児相談に応じ、また情報を提供することはありますが、育児相談について、定期的に相談日を設けて対応している状況には至っていません。</li> <li>・区役所、保健師、助産師、公立・民間保育園の園長会など関係機関のリストがあり、関係機関との連携は施設長があたっています。必要な時には相談に応じてもらっています。</li> </ul> |

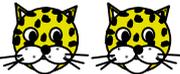
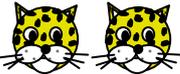
## 評価領域 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬谷区内の民間保育園と市立保育園が開催する、子育て応援イベント「わいわい瀬谷っこまつり」においては、企画段階から参加して、催しの推進・活動に取り組んでいます。</li> <li>・利用している地域の文化・レクリエーション施設としては、瀬谷地区センターがある。今年度は秋の運動会会場として利用しています。</li> <li>・散歩やスーパーでの買い物の際に、地域の人々とあいさつをしたり、言葉かけをしてもらっています。また、勤労感謝の日に交番のお巡りさんや瀬谷駅の職員に絵をプレゼントして、日常的に地域の人達と交流を図っています。また、電車内に園児の絵を掲示するなど、地域コミュニティへの働きかけにも取り組んでいます。</li> <li>・なお、現在、園の行事に地域住民を招待する、地域に対して施設開放や備品の貸し出しをするなどの取り組みは行っていません。また、現在、他の園・学校・福祉施設等との交流は行っていません。</li> </ul> |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレットや会社で作成しているホームページ、横浜市子ども青少年局ホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」等により、地域や関係機関へ、園の情報を提供しています。</li> <li>・園のパンフレットは瀬谷区役所のパネル展や、「わいわい瀬谷っ子まつり」においても展示・配布しています。</li> <li>・利用希望者へはパンフレットを使用して、園の基本方針や利用条件・保育内容等について説明しています。また、見学については、保育に支障をきたさない範囲で受け入れています。</li> </ul>  |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアおよび実習生の受け入れに当たっては、あらかじめ職員には会議を通して、保護者へは、受け入れにあたっての考え方や方針を「お知らせ」で伝えています。</li> <li>・受け入れは主任が担当し、効果的な研修ができるように努めています。ボランティアおよび実習生の感想や意見は、園の運営や保育の参考にしています。</li> <li>・なお、ボランティアおよび実習生の受け入れ体制は出来ていますが、マニュアルの形としては、まだ整備されていません。</li> </ul>  |

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長は、園の運営を考慮して、本社と協議して必要な人材の補充を行うと共に、園の理念・方針に適合した人材を育成する計画を策定しています。</li> <li>・年間の研修計画に沿って、園外の研修会・研究大会等へ積極的に参加しています。研修の成果はレポートにまとめ、会議などを通して紹介し、日々の保育に活かしています。</li> <li>・非常勤職員にも、常勤職員と同様の業務資料を配布し、職員間のコミュニケーションに留意して日常の指導育成を図っています。</li> <li>・なお、今後は、保育の理念や基本方針の実践へ向けての取り組みや、日々の保育の課題を研究するなどの内部研修（園内研修）の実施について検討することが望まれます。</li> </ul> |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催の職員会議やクラス会議において、保育についての意見交換を行い、個々の職員のスキルの向上に結びつけています。</li> <li>・工夫・改善した保育事例を討議し、保育技術の向上に活かしていますが、今後は、研究会・勉強会などの仕組みの中で取り組むことが望まれます。</li> <li>・なお、必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みは、作っていません。</li> </ul>   |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員には可能な限り権限を委譲し、状況に応じて自主的に判断できるようにしています。また、職員からの業務改善の提案とか意見は、各会議を通して話し合わせられ運営に活かされています。</li> <li>・施設長は、定期的な職員との個人面接を通して、職員の満足度・要望などを把握しています。</li> <li>・なお、業務に対する、経験・能力や習熟度に応じた役割が形作られています。期待水準として明文化されるには至っていません。</li> </ul>   |

## 評価領域 経営管理

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・守るべき法・規範・倫理等は、「そうてつ保育園 GENKIDS 瀬谷保育園 管理規程」に明文化され、全職員に周知されています。また、組織として、CSR（企業の社会的責任）を重要課題として捉えていて、施設長および主任はCSR導入研修により理解を深め実践に活かしています。</li> <li>・コピー用紙の裏面使用、牛乳パックやペットボトルキャップ等によるおもちゃの製作など、ゴミ減量化・リサイクルに取り組んでいます。また、 unnecessary 電灯の消灯、空調装置の適正温度維持など、省エネルギーの推進にも取り組んでいます。</li> <li>・環境の考え方・取り組みについて、相鉄グループ「環境管理マニュアル」に明文化し運営に活かしています。</li> <li>・なお、現在、経営や運営状況等の情報は公開していません。</li> </ul> |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の理念や基本方針は明文化して職員に配布しています。そして、年度末会議において施設長より詳細な説明を行い、周知を図っています。</li> <li>・重要な意思決定にあたっては、職員会議や保護者の代表が加わる運営委員会を通して、意見交換および説明を行っています。なお、運営に大きな影響を及ぼすような事項に対して検討チームを編成し組織的に取り組むしくみ作りまでは、まだ至っていません。</li> <li>・主任は会議や各クラスでの保育業務を通して、個々の職員の能力や経験にあわせた的確な助言・指導を行っています。</li> <li>・スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成するプログラムは、今後の課題です。</li> </ul>  |
| <p>- 3 効率的な運営</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長は、本社も参加する系列園の施設長会議や、瀬谷区内保育施設長連絡会への参加等を通して、事業運営に影響する情報を収集し分析しています。情報は適宜、職員に周知するとともに、重要な検討課題についてはリーダー会議において討議・対応しています。</li> <li>・保育園の中長期的な計画は本社において策定し、次代の運営や保育について検討しています。なお、現在、運営に関して、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる状況には至っていません。</li> </ul>  |

## 利用者家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2007年11月1日～11月20日
- 2、実施方法 事業者（園）から全園児の保護者に直接配付（手渡し）  
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関に無記名で返送。
- 3、回収率 42.6%（68枚配付、29枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...4人、1歳児クラス...6人、2歳児クラス...5人、3歳児クラス...7人、  
4歳児クラス...4人、5歳児クラス...3人、無回答...0人

ただし同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスについて回答。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育目標や保育方針について

66%の保護者が「まあ知っている」と答え、「あまり知らない・まったく知らない」との答えも14%ありました。“説明を聞いた覚えがない”という方が数名います。

「まあ知っている」と答えた内の95%が、「賛同できる・まあ賛同できる」と回答しています。

#### 【問2】入園時の状況について

大体の項目について、約80%の保護者が「満足」と答えていますが、「見学の受け入れ」「入園前の園からの情報提供」「園の目標や方針の説明」については、満足度が高くありません。3年前の設立当初における、園としての受け入れ準備不足が関係していると思われます。今後は、入園前の見学や説明、面接などにゆとりをもって対応することが望まれます。なお、「見学の受け入れ」「面接などのお子さんの様子や生育暦を聞く対応」の2項目について、20%以上の保護者が「その他」と答えていますが、これは、“新設園のため見学していない”“面接していないのでわからない”という意見です。

「満足」は、「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせたもの（以下同様）

#### 【問3】年間の計画について

80%前後の保護者が「満足」と答えていますが、10%の保護者は「不満」と答えています。園では行事の後に、アンケートにより保護者から意見や要望を求め、計画や運営に反映していますが、年間の保育や行事については、早めに具体的な説明を行って理解と協力が得られるよう望まれます。

「不満」は、「不満」と「どちらかといえば不満」をあわせたもの（以下同様）

#### 【問4】日常の保育内容について

「遊び」については、ほとんどの項目で90%前後の保護者が「満足」と答えています。異年齢児保育や公園での遊びに満足している意見がありました。

「生活」については、概ね満足という回答となっています。ただ、「家庭と協力し、お子さんの状況に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組み」については、10%の保護者から「不満」の声があります。「その他」10%は、“入園した時にはおむつが外れていました”などの意見です。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

85%強の保護者が「満足」と答えています。概ね、園の対策が理解されていると考えられます。

なお、“カードキーを持たない人でも、保護者と一緒に園に入り込むことは可能ではないか”との不安の声が出されています。

【問6】園と保護者との連携・交流について

各項目に対して80～90%の保護者が「満足」と答えています。“急な連絡でも対応してくれる”“担任以外の先生も親切に対応してくれる”など感謝の言葉がありますが、“もっと保護者と園との交流の場が欲しい”との意見もありました。なお、「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」についての「その他」10%は、“そのような状況になったことが無いのでわかりません”などの意見です。

【問7】職員の対応について

4つの項目に対して、90%以上の保護者が「満足」と答えています。“満足しています”“良く気をつけてくれます”など保育士への信頼と感謝の言葉が見られます。なお、「アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮」についての「その他」10%は“そういうお子さんを存じません”などの意見です。

【問8】保育園を総合的に評価すると

93%の保護者が「満足」と答えています。

【問9】園への要望など

職員の入れ替りが多いことについて、保護者から不安の声がありました。

まとめ

- ◇ 全体的に、職員による保育への真摯な取り組みに対して、保護者の満足度は高いと思われます。
- ◇ 入園前の見学や説明、面接などについては、今後、ゆとりをもって対応されることが望まれます。
- ◇ 園の保育の理念や基本方針を良く理解してもらうことによって、園と保護者との連携が一層深まり、子どもにとってさらに良い環境になると考えられます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

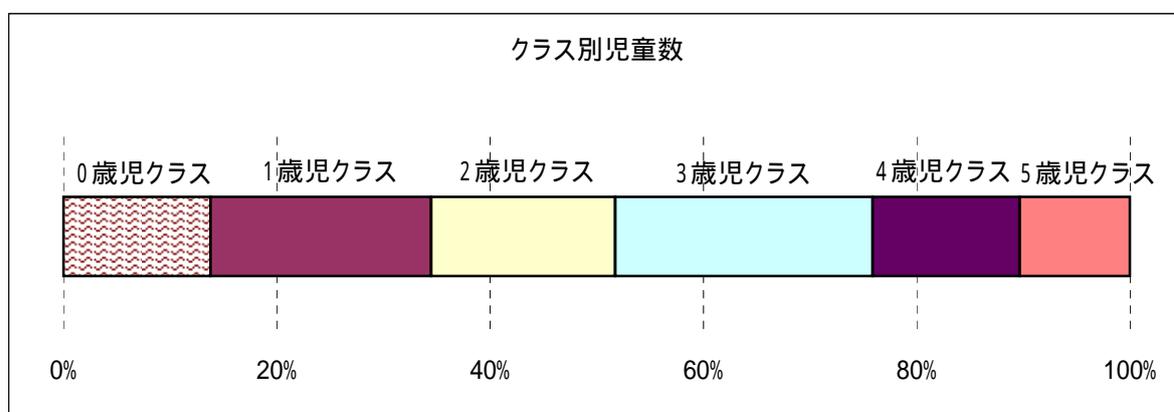
実施期間：2007年 11月1日～11月20日

回収率：42.6% （回収29枚 / 配布68枚）

### 【属性】

| クラス別児童数 |        |        |        |        |        |        | (人) |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 合計      | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
| 29      | 4      | 6      | 5      | 7      | 4      | 3      | 0   |

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入



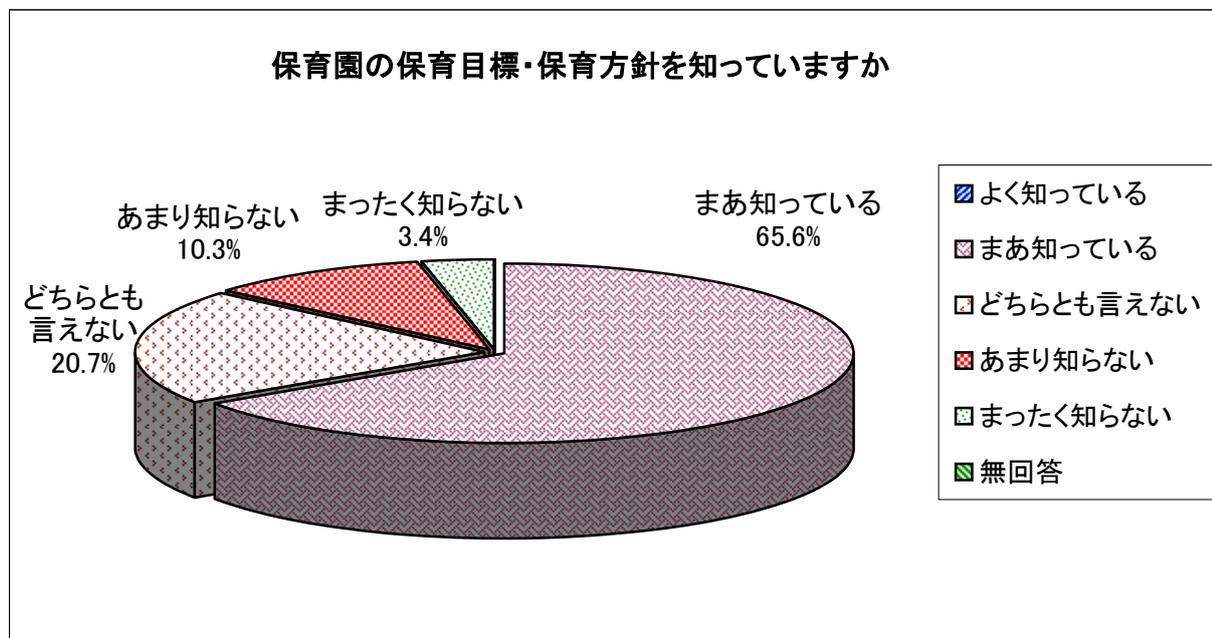
## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1:                       | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計   |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 0.0     | 65.5    | 20.7      | 10.3    | 3.4      | 0.0 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

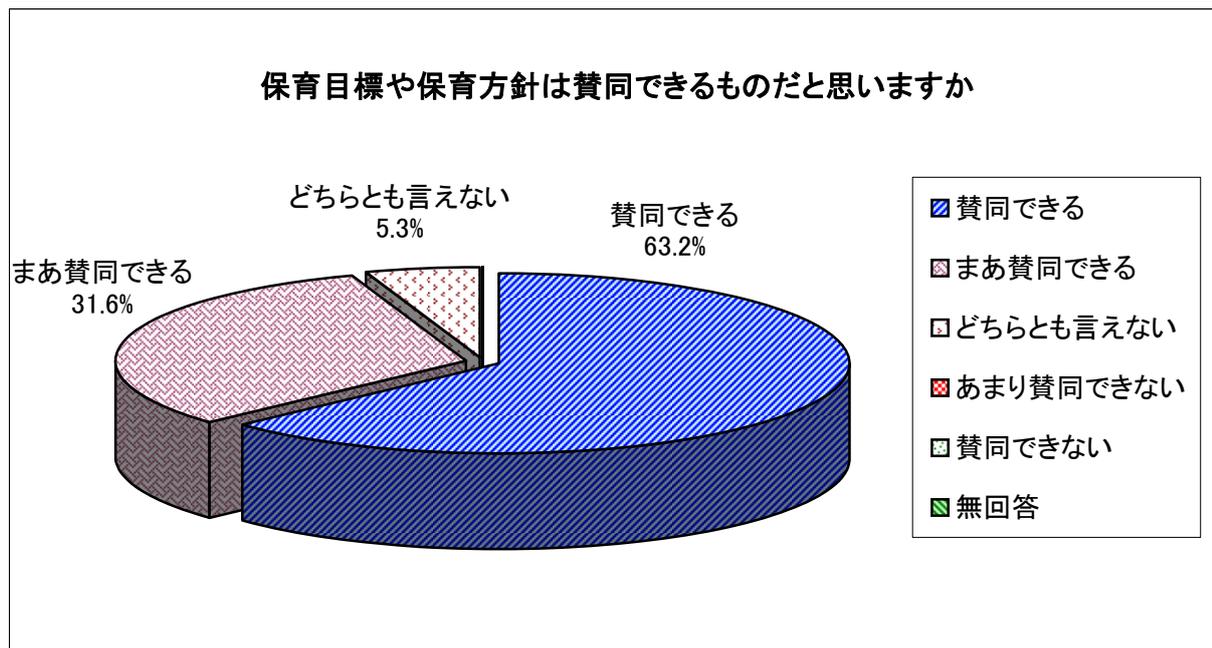


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1:                            | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計   |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 63.2  | 31.6    | 5.3       | 0.0       | 0.0    | 0.0 | 100 |



## ■ 保育園のサービス内容について

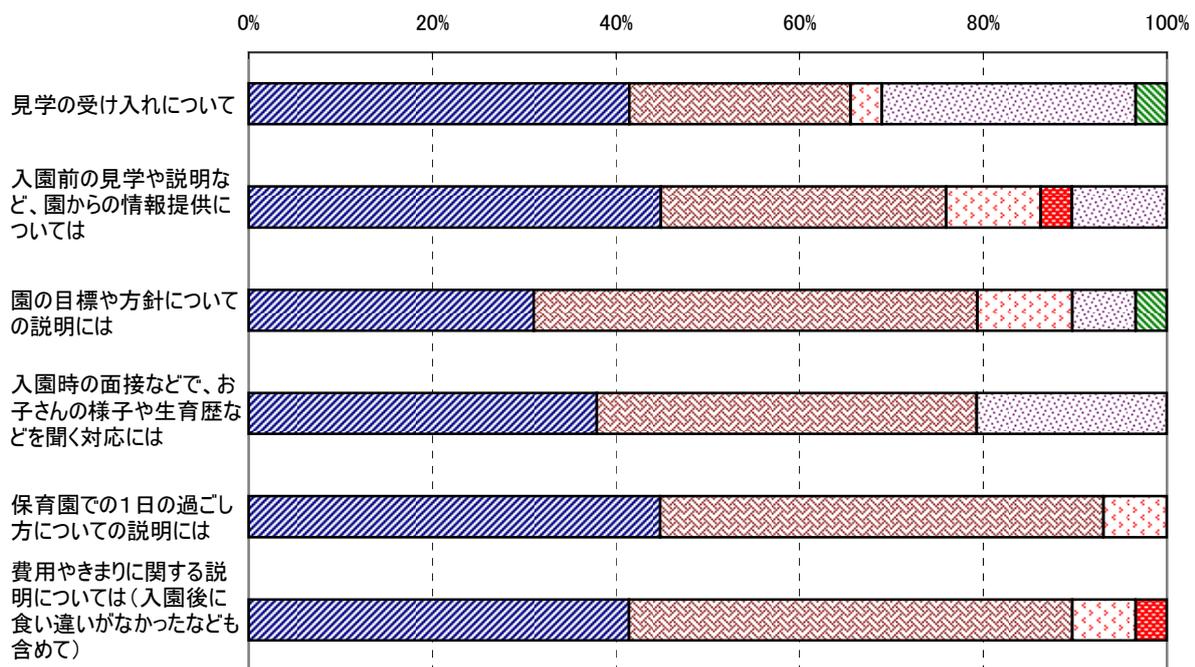
### 問2 入園時の状況について

(%)

|  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 見学の受け入れについて                            | 41.4 | 24.1       | 3.4        | 0.0 | 27.6 | 3.4 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については              | 44.8 | 31.0       | 10.3       | 3.4 | 10.3 | 0.0 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には                       | 31.0 | 48.3       | 10.3       | 0.0 | 6.9  | 3.4 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には         | 37.9 | 41.4       | 0.0        | 0.0 | 20.7 | 0.0 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                  | 44.8 | 48.3       | 6.9        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったなども含めて) | 41.4 | 48.3       | 6.9        | 3.4 | 0.0  | 0.0 | 100 |

#### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



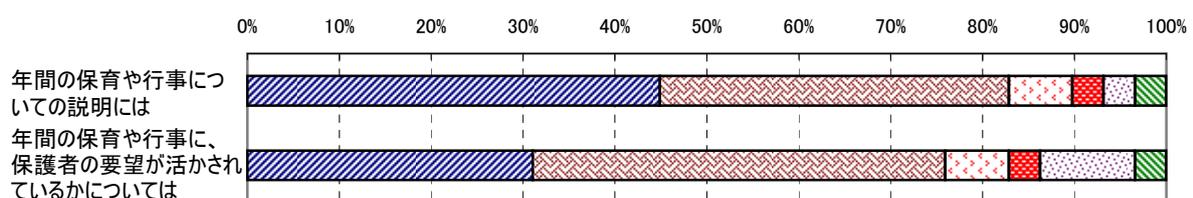
### 問3 年間の計画について

(%)

|                                | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 44.8 | 37.9       | 6.9        | 3.4 | 3.4  | 3.4 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 31.0 | 44.8       | 6.9        | 3.4 | 10.3 | 3.4 | 100 |

#### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



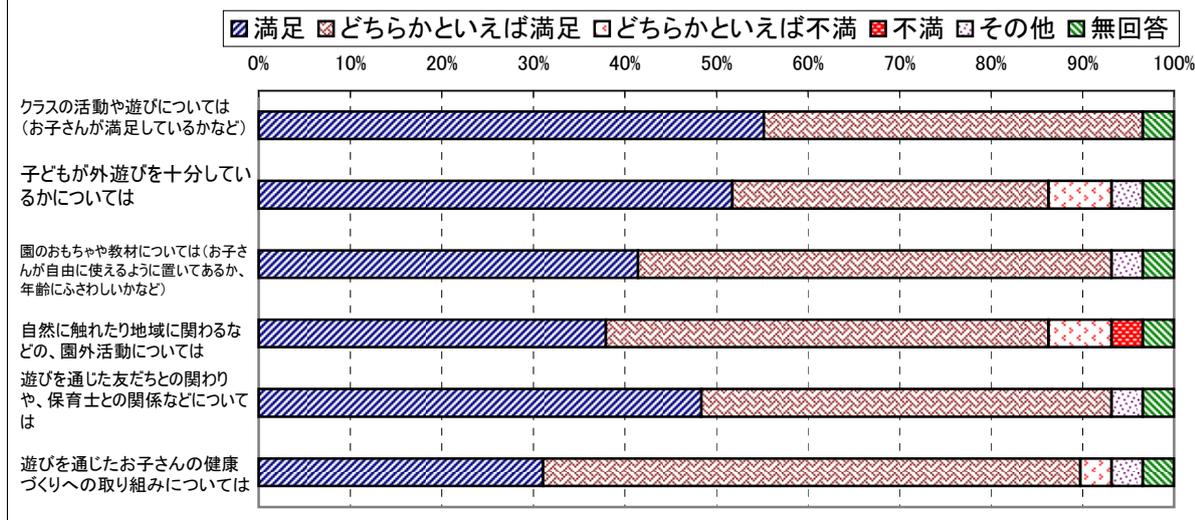
### 問4 日常の保育内容について

(%)

#### ●「遊び」について

|  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)                   | 55.2 | 41.4       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 100 |
| 子どもが外遊びを十分しているかについては                             | 51.7 | 34.5       | 6.9        | 0.0 | 3.4 | 3.4 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 41.4 | 51.7       | 0.0        | 0.0 | 3.4 | 3.4 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 37.9 | 48.3       | 6.9        | 3.4 | 0.0 | 3.4 | 100 |
| 遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては                   | 48.3 | 44.8       | 0.0        | 0.0 | 3.4 | 3.4 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 31.0 | 58.6       | 3.4        | 0.0 | 3.4 | 3.4 | 100 |

#### 日常の保育内容「遊び」について

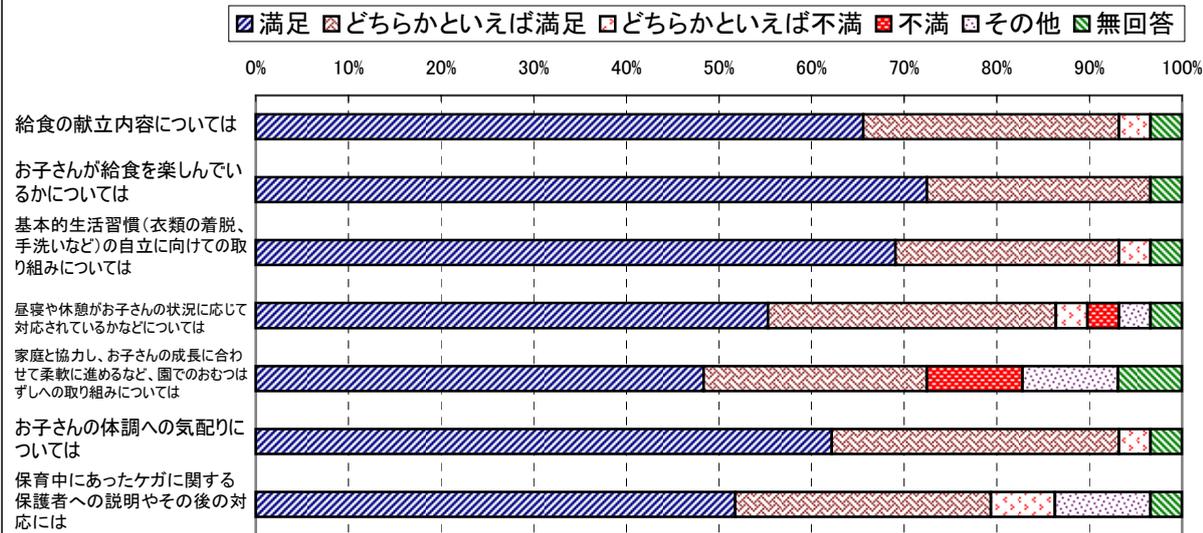


(%)

#### ●「生活」について

|  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|------|------|-----|-----|
| 給食の献立内容については                                     | 65.5 | 27.6       | 3.4        | 0.0  | 0.0  | 3.4 | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                             | 72.4 | 24.1       | 0.0        | 0.0  | 0.0  | 3.4 | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては           | 69.0 | 24.1       | 3.4        | 0.0  | 0.0  | 3.4 | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては                 | 55.2 | 31.0       | 3.4        | 3.4  | 3.4  | 3.4 | 100 |
| 家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては | 48.3 | 24.1       | 0.0        | 10.3 | 10.3 | 6.9 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては                                | 62.1 | 31.0       | 3.4        | 0.0  | 0.0  | 3.4 | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には                    | 51.7 | 27.6       | 6.9        | 0.0  | 10.3 | 3.4 | 100 |

#### 日常の保育内容「生活」について



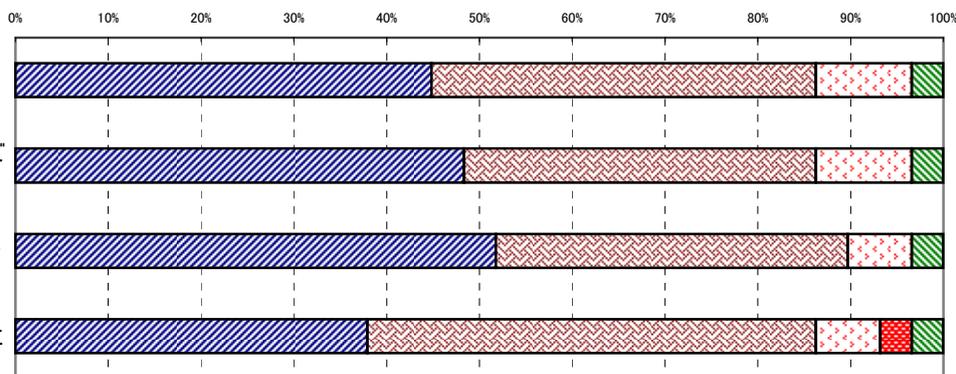
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

|                           | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|---------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備については                 | 44.8 | 41.4       | 10.3       | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については    | 48.3 | 37.9       | 10.3       | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 100 |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては     | 51.7 | 37.9       | 6.9        | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 37.9 | 48.3       | 6.9        | 3.4 | 0.0 | 3.4 | 100 |

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



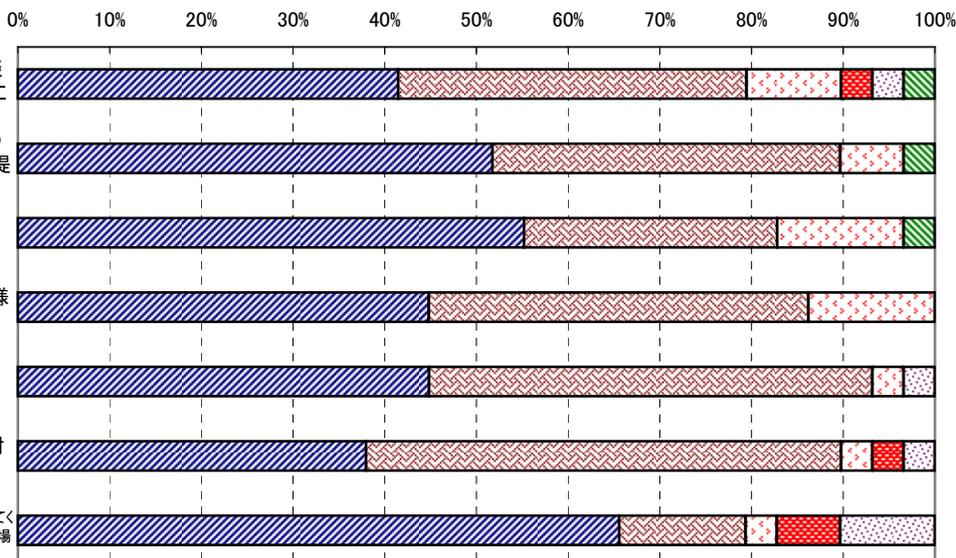
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 41.4 | 37.9       | 10.3       | 3.4 | 3.4  | 3.4 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については           | 51.7 | 37.9       | 6.9        | 0.0 | 0.0  | 3.4 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 55.2 | 27.6       | 13.8       | 0.0 | 0.0  | 3.4 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 44.8 | 41.4       | 13.8       | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 44.8 | 48.3       | 3.4        | 0.0 | 3.4  | 0.0 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 37.9 | 51.7       | 3.4        | 3.4 | 3.4  | 0.0 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 65.5 | 13.8       | 3.4        | 6.9 | 10.3 | 0.0 | 100 |

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

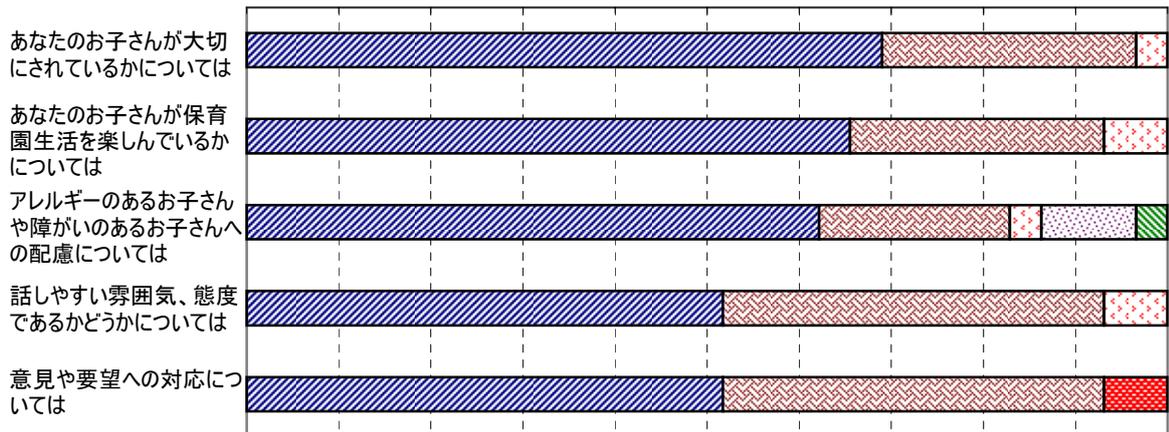
(%)

|                                  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|----------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては          | 69.0 | 27.6       | 3.4        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては      | 65.5 | 27.6       | 6.9        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については | 62.1 | 20.7       | 3.4        | 0.0 | 10.3 | 3.4 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては          | 51.7 | 41.4       | 6.9        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 意見や要望への対応については                   | 51.7 | 41.4       | 0.0        | 6.9 | 0.0  | 0.0 | 100 |

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

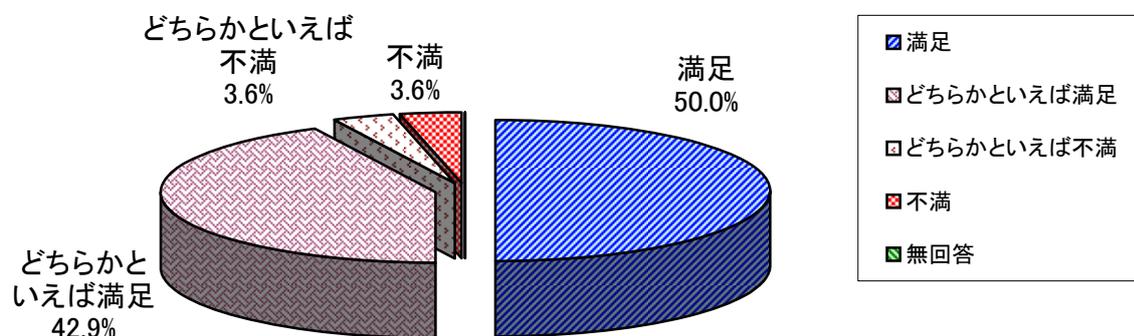


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

|        | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | 無回答 | 計   |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 50.0 | 42.9       | 3.6        | 3.6 | 0.0 | 100 |

#### 総合満足度



## 利用者本人調査 分析

観察日時・調査方法：1月18日（金）、1月21日（月） 全クラス対象

両日とも、9:00～13:00の時間帯を中心に、断続的に保育観察を実施しました。  
観察中、4・5歳の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス（ひよこ組）

観察日は元気な子どもは園庭で、体調が悪い子どもは保育室で分かれて遊びました。園庭では1、2歳児が遊ぶのを眺めたり、保育士と一緒に、砂場の砂をシャベルですくったり、滑り台を滑ったり、ダンボール箱の電車で遊んだりして過ごしました。保育室に残った子どもたちはクッキーなどの空き缶をばちでたたいて太鼓遊びをしました。お片づけの時は、保育士の声かけで子どもたちもおもちゃを運ぶのを手伝いました。

園庭から戻った子どもたちは手を洗い、オムツを替えてもらって、着替えをしました。靴下を脱ぐ時は、「がんばれ、がんばれ」と保育士が声をかけ、自分で少しでもできるよう励まします。

食事の前に、焼き芋の歌を歌いました。手作りの焼き芋を一人一人に「あむあむ」「ぱくっ」と食べるまねをさせ、保育士も食べるまねをしました。食事は皆、スプーンを使って保育士に介助してもらい自分で食べます。

### 1歳児クラス（うさぎ組）

朝の自由遊びのときは絵本を見たり、ミニカーで遊んだりしました。友達との関わりもありますが、一人遊びが多いです。保育士はそばから見守り、遊びが続くよう手助けをしていました。

出席をとる時、子どもたちはテーブルにキチンと座り、名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく答えていました。おやつの後、保育士の電子ピアノに合わせて、歌を歌ったり、手をつないでお遊戯をしたり、体操したりしました。クッキーの缶を太鼓代わりにたたいたりもしました。

園庭では砂場で団子を作ったり、かけっこしたり、フラフープで電車ごっこなどをしました。保育士は見守り、遊びが広がるようおもちゃを足したり、声をかけたりしています。子ども同士のけんかの場面では、他のおもちゃで気を引きながら、言葉で言うよう諭していました。

園庭に出る時、保育士が「がんばれ、がんばれあとちょっと」などと励まし、子どもたちは靴下を自分ではいています。できたらまたほめて、最後まで自分でできるよう働きかけていました。

### 2歳児クラス（りす組）

登園してきた子どもたちはパズル、ままごと、人形などで自由に遊んでいます。保育士は一人ひとりに声かけし、遊びを見守っていましたが、ジグソーパズルがうまくいかない子どもには手助けをしていました。おやつの前には自分たちで片付けをしました。子どもたちは友達同士でよく会話しています。

おはようのあいさつの後、おやつの前に「くだものくだもの」のペープサートをしました。子どもたちはお気に入りの桃・イチゴ・パイアの時は大きな声で答えていました。

園庭ではシャボン玉をして遊びました。皆上手に膨らませることができます。保育士がシャボン玉をつぶすと皆大喜びでどんどん膨らませていました。その後、ボール、フラフープ、滑り台、砂遊びなど思い思いの遊びを元気一杯にしました。保育士は見守り、遊びが途絶えそうになると声をかけ、一緒に入り手助けします。一緒に園庭に出ていた0、1歳児とはごく自然に交わり、走っている時も、

0歳児がいるとよけて通っていました。

けんかの場面では、保育士は双方の言い分をじっくり聞き、子どもたちの気持ちを受け止めた上で、お互いが納得して謝るよう仲立ちしていました。

食事は皆でおしゃべりしながら、楽しく食べました。たくさんの子がおかわりをしています。調理員が途中で見に来て、子どもたちとおしゃべりしていました。食べ終わった子どもから歯磨きをし、後で保育士に仕上げ磨きをしてもらっていました。

### 3・4・5歳児クラス（にじ組、たいよう組、そら組）

登園してきた子どもたちは積み木、ブロック、絵本、トランプなどで自由に遊んでいます。しばらくぶりに登園し母親から離れられない子どもは保育士が抱っこして、遊びに誘っていました。片付けは子どもたちが自分でします。カードを揃えることにこだわり、なかなか終わらない子どもも、保育士が「あと10回トントンしたら」と言うと、「うん」と納得し、10回トントンして、スッキリした様子になりました。

トイレに行き、お茶を飲んでから、公園への散歩に出発しました。5歳児は3歳児と手をつなぎ、車の通る側を歩きます。階段を上る時は小さい子を前に行かせたり、車が通る時は端に寄ったりと、自然に大きい子が小さい子を気遣っています。公園では、かけっこ、木登り、鉄棒、ボール、ジャングルジム、ブランコ、砂遊びとそれぞれが思い思いのことをして、元気いっぱい遊んでいます。友達ともよく関わっています。自分が何をして遊びたいかを皆はっきり言うことができます。保育士は子どもたちが自由に遊ぶ様子を危険がないか見守りながら、時々遊びに加わっていました。

けんかの時は保育士はお互いの言い分をじっくり聞いて、「どうすれば良いかな」と自分たちで考え、解決するよう働きかけています。

食事の時は3歳児と4、5歳児が分かれて食べました。お当番がおかずをよそい、配ります。他の子どもたちは椅子に座って待ちます。

皆おしゃべりしながら「おいしい」「嫌いなメニューはないよ」とたくさん食べます。おかわりをする子どもも多く、残す子どもはほとんどいません。保育士は全部食べるよう励ましていますが、当日体調が悪かった子どもには「残しても良いよ」と声かけしていました。食べ終わった子どもから食器を片付け、歯磨きをしていました。

5歳児は1月から就学準備のため、午睡を行っていませんが、3、4歳児は皆ぐっすりと眠り、途中で起きてくる子どもはほとんどいませんでした。

お漏らしをしたときも、保育士は叱ることなく、隅で着替えさせていました。

### 保育士・職員について

保育士は子どもたちの自主性を大切に、子どもたちを見守り、必要な時は援助しています。乳児にはたくさん抱っこをして、十分にスキンシップを取っています。幼児には自分たちで考え、行動するように働きかけています。一人ひとりの情報は、申し送りやスタッフミーティング、クラス内での会話で共有し、声を掛け合い、職員は皆で、子どもたち全員を見るようにしています。

## 事業者コメント

当保育園は、平成17年4月に認可保育園として開園いたしました。

当保育園は笑顔の絶えない家庭的な雰囲気の中で、大切なお子様をお預かりし、保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にすることを、基本理念・方針として保育してまいりました。

そして、「よく食べ、よく遊び、よく寝る」をキーワードに、外あそびを中心とした保育を日々実践しています。

今回第三者評価を受けることは、現在実践する保育を職員全員で見つめる良い機会と考え受審いたしました。

評価はまず職員全員で自己評価を行いました。その後、各クラスで、自己評価を基に話し合いを行いました。職員全員が保育について正面から向き合うことができました。

保護者アンケートでは、保育の基本理念・方針が保護者の皆様には十分伝わっていないところもあることを知り、今後、伝えていけるように努力していきたいと思っております。

又、改善や工夫が望まれる点もありました。今後マニュアルの整備等に力を入れて、よりよい保育を目指して職員一同実践してまいります。

当保育園は、相鉄グループ会社である相鉄アメニティライフ(株)が運営しています。相鉄グループの経営理念である沿線価値の向上を具現化すべく、地域に求められる良質な保育サービスを提供してまいりました。今後も、相鉄グループの持つ様々な経営資源と連携しつつ、保育園として地域交流や子育て支援など、地域社会に果たす役割を検証し、実践してまいります。

最後に、第三者評価を実施していただいた市民セクターよこはまの評価調査員の方々に、何度も保育園に足を運んでいただき、様々な視点での助言を頂いたことに感謝し、また、お忙しい中アンケートにご協力いただいた保護者の皆様にお礼申し上げます。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/index.html>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

---

特定非営利活動法人



評価実施機関：

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号18-10

介護サービス情報の公表 神奈川県指定調査機関 08

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26 洋服会館ビル2F

TEL 045-222-6501 FAX 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>

---